

条件反射制御法 講義11

維持ステージ 重要図

約138億年前 宇宙誕生



★季節の変遷へ適応してきた

季節 自転軸と公転軸が

23.4度傾いてることに基づく

自転軸：北極と南極を結ぶ軸でこれを軸にして地球が自転している

公転軸：太陽の周りを地球が回っており、その公転の軸

平原の鹿の行動

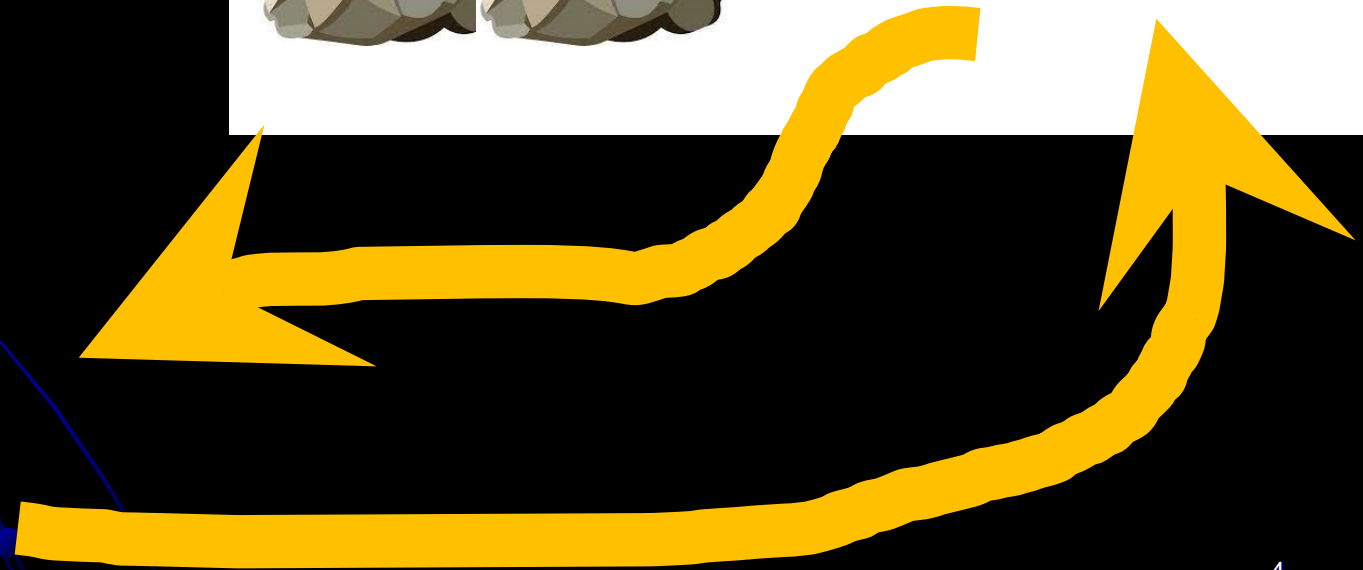
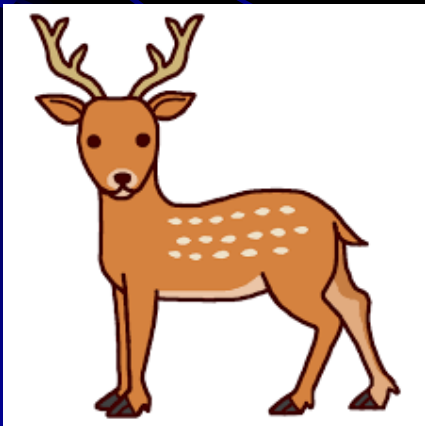
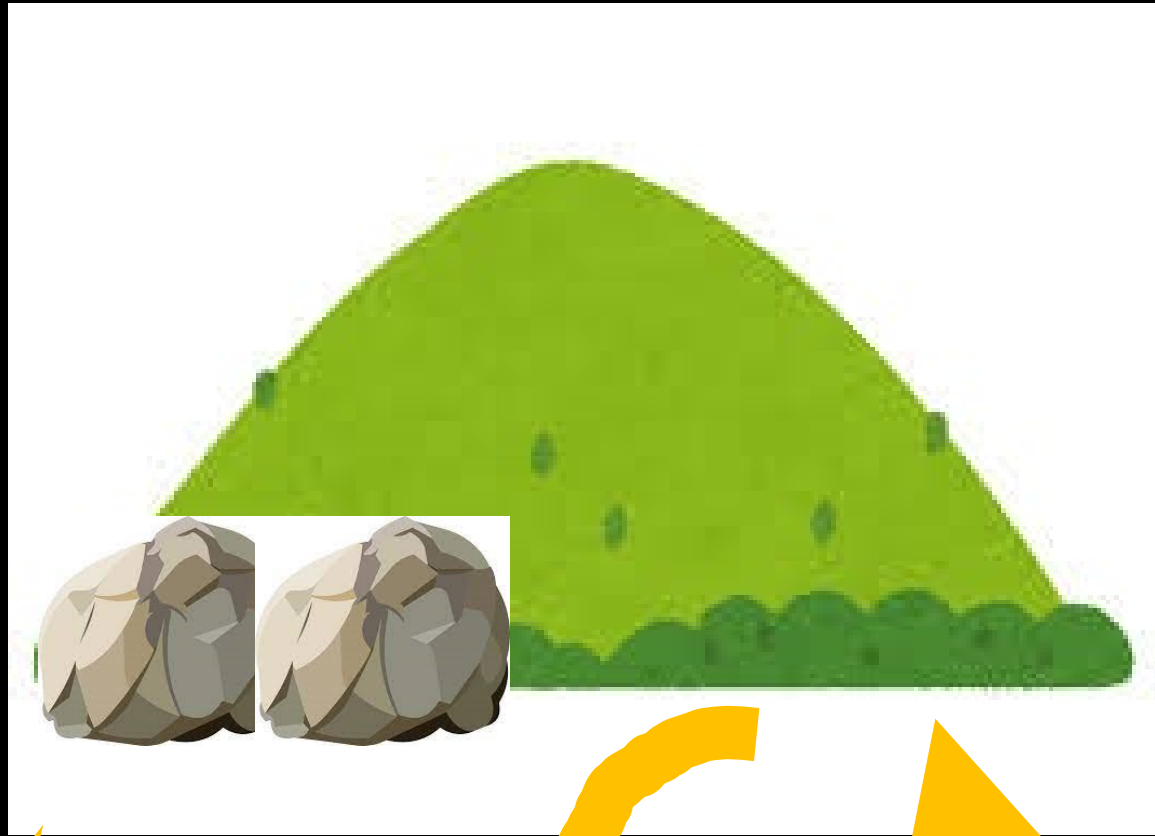
春と夏

刺激：常緑樹

反応：山に行く

報酬：草を食べる

反射作動性：高



平原の鹿の行動

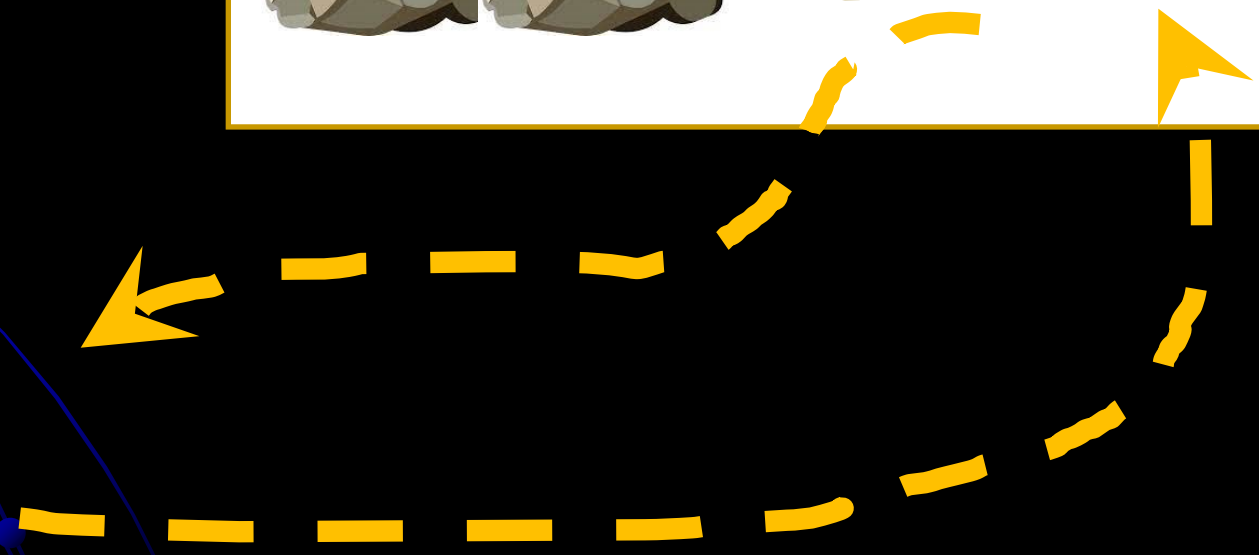
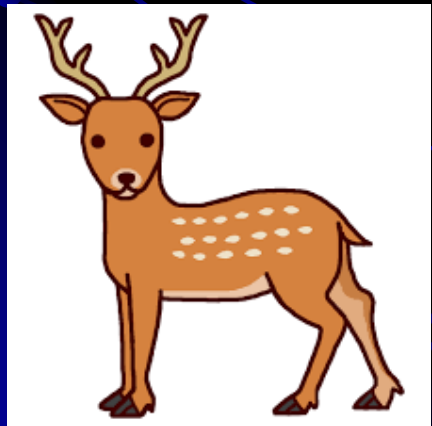
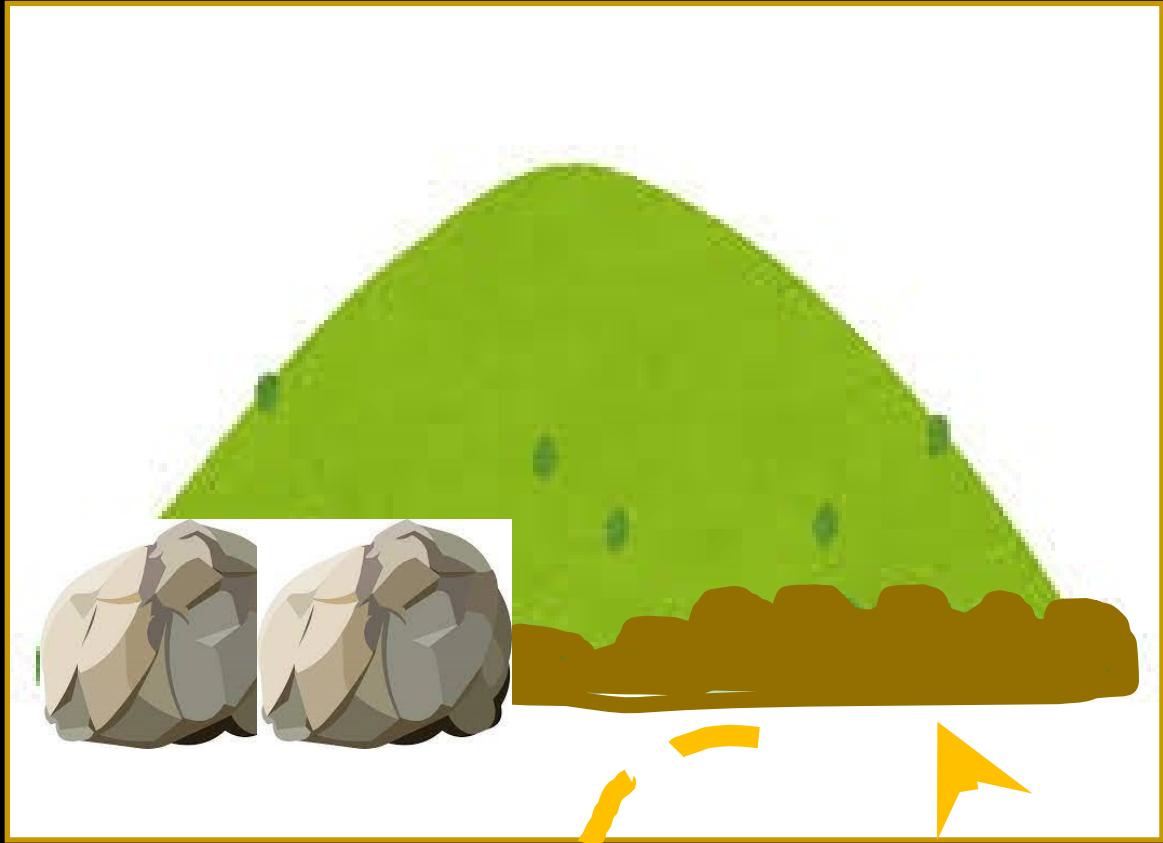
秋の始め

刺激：常緑樹

反応：弱く行く

報酬：無

反射作動性：↓



平原の鹿の行動 秋

刺激：常緑樹

反応：無

報酬：無

反射作動性：無



平原の鹿の行動

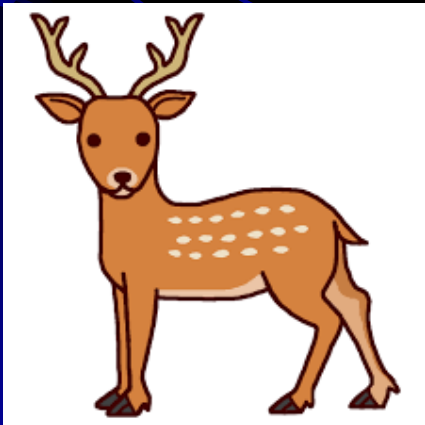
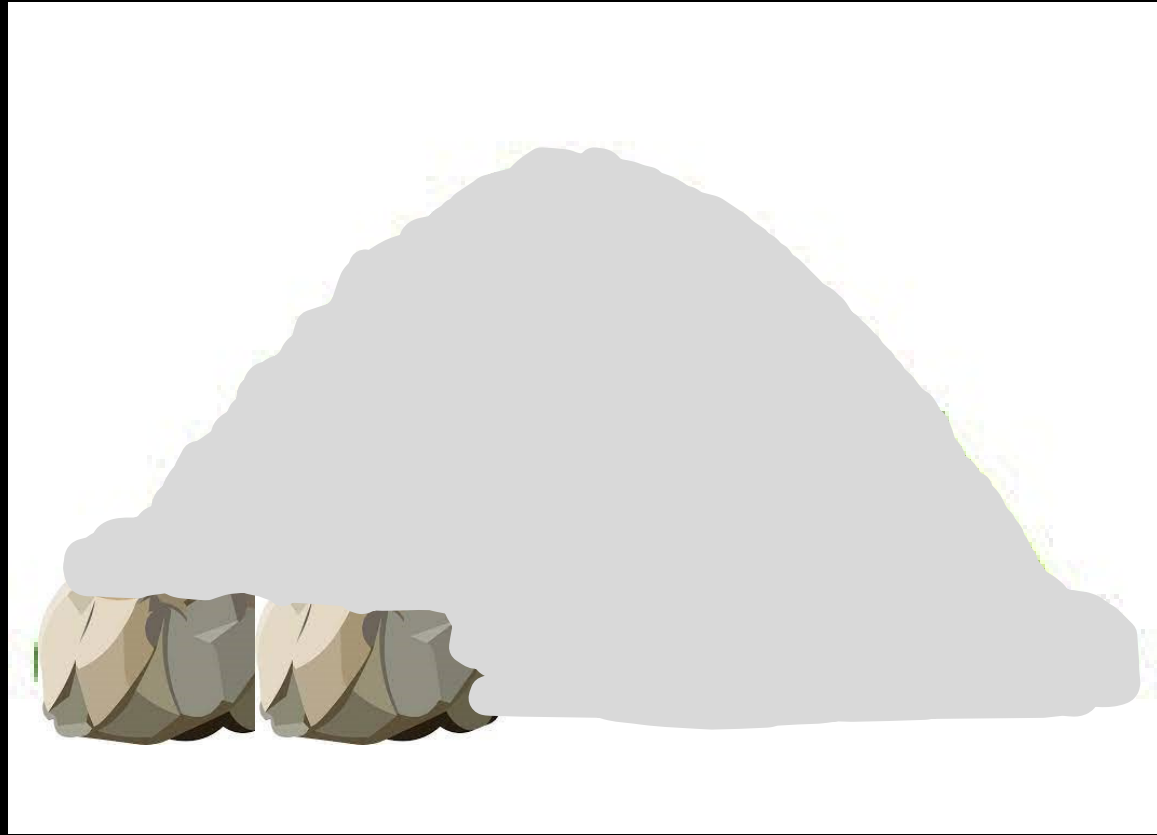
冬

刺激：無

反応：無

報酬：無

反射作動性：？



平原の鹿の行動を司る反射の変化

- 1) 春と夏に、山の常緑樹を見て(刺激)、山に行き(反応)、草を食べる(報酬)。
- 2) 秋に、山の常緑樹を見て(刺激)、山に行き(反応)、草がない(報酬無)。山に行かなくなる(抑制)。
- 3) 冬に、雪で山の常緑樹を見ず(刺激無)、山に行かない(.....)。
- 4) 春になって、山の常緑樹を見て(刺激)、山に行き(反応)、草を食べる(報酬)。

維持作業をサボったら

問題行動を司る反射連鎖が回復する。
制御刺激が効果を失う。

維持ステージ

規定：一生する、毎日する

制御は5回程

疑似と想像は2回程

問題行動の描写文は1週間に1度

体験の読み返しと20単語の書き出し

短時間内観、一日の振り返り

効果：制御刺激の効果を保つ。

標的の反射連鎖の作動性を

低いままに保つ。

14	T	7842	T	3316	T	3207
15	F	7847	T	3318	T	3206
16	正	7850	T	3320	T	3208
17	F	7855	T	3322	T	3210
18	正	7858	T	3324	T	3212
19	F	7862	T	3326	T	3214
20	F	7865	T	3328	T	3216
21	F	7869	T	3330	T	3218
22	F	7872	T	3332	T	3220
23	F	7875	T	3334	T	3222
24	T		-		-	
25						
26						
27						
28						
29						
30						

